

# SJAC ホームページで、宇宙機器産業実態調査報告書を探す方法。

**トップページ** <http://www.sjac.or.jp/>

**社団法人 日本航空宇宙工業会**  
—The Society of Japanese Aerospace Companies—

- ▶ SJACの歩み
- ▶ 主たる活動
- ▶ 会員リスト
- ▶ 会員会社概要
- ▶ 役員
- ▶ 事務局組織
- ▶ 委員会及び支部
- ▶ 業務などに関する資料
- ▶ 入会のご案内
- ▶ SJAC案内図

**データ・統計資料**

2月20日、第4回新機械振興賞授賞式が開催され、当工業会推薦による(株)フジキンが機械振興協会会長賞を受賞した。詳細は会報「航空と宇宙」13月号を御覧下さい。

お知らせ  
・第237回理事会  
3月27日(火)  
10時30分～  
於 SJAC会議室

会報「航空と宇宙」13月号より

「データ・統計資料」をクリックすると、左下の画面に行く。

**「宇宙産業実態調査」をクリックすると、右の画面に行く。**

データ

1. 航空機生産実績 平成16年度(平成16年10月～17年3月)(確定値)
2. 航空機生産実績 平成17年(平成17年1月～12月)(確定値)
3. 航空機生産実績 平成17年度(平成17年4月～18年3月)(速報値)
4. 航空機の生産・輸出・受注額見通し(平成18年9月～19年3月)(見込み値)
5. 通関統計 平成17年(平成17年1月～17年12月)
6. 「宇宙機器産業実態調査報告書」概要について(平成17年度)

**工業会活動**

**「平成17年度宇宙機器産業実態調査報告書」概要**

当工業会では、毎年度、我が国の宇宙機器産業の実態を把握するため、「宇宙機器産業実態調査」を実施している。本調査は、我が国の宇宙産業の実態を把握することができる唯一の調査であり、例年、宇宙産業に携わる企業にアンケートに回答いただき、調査を実施

よって、ロケットの売上高が198億円増加し、地上施設関連の売上高も35億円増加したが、人工衛星関連の売上高の減少(193億円)も大きく、結果的に、宇宙機器産業全体で前年度比増加額48億円にとどまっている。

また、来年度以降の見通しとしては、平成

(中略)

表1 分野別売上高 (単位:百万円)

分野	2005年度(A)		(参考)2004年度(B)		前年度比(A)/(B) (%)	
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)		
飛用体	固体ロケット	18,294	8.2	12,169	5.6	150
	液体ロケット	38,273	17.6	25,915	11.8	151
	打上げ関連経費	701	0.3	334	0.2	210
	ロケット(小計)	58,268	26.0	38,418	17.6	151
	宇宙推進機	6,112	2.7	3,909	1.8	156
	システム・バス機器	44,012	19.7	61,043	27.9	72
	ミッション機器	25,648	11.5	31,701	14.5	81
	送受信機・運用/その他	7,740	3.5	3,922	1.8	197
	人工衛星(小計)	77,400	34.6	96,666	44.2	80
	宇宙ステーション	25,890	11.5	29,861	13.5	87
飛翔体(小計)	167,411	74.8	168,454	77.0	99	
地上施設	開発試験/整備・総務	4,282	1.9	3,220	1.5	133
	ロケット打上げ/運用/整備・総務	9,359	4.2	9,302	4.3	98
	人工衛星送受信機・整備	8,311	3.7	10,436	4.8	80
	通信・放送衛星利用設備	2,942	1.3	3,165	1.4	93
	観測衛星データ処理設備	3,963	1.8	3,847	1.8	103
	CPS利用設備	5	0.0	0	0.0	0
	地上における実験設備	59	0.0	41	0.0	83
	その他の地上設備	8,626	3.9	4,053	1.9	213
	地上施設(小計)	37,547	16.8	34,063	15.6	110
	ソフトウェア開発	11,438	5.1	10,251	4.7	112
データ処理・解析	7,274	3.3	6,081	2.8	120	
ソフトウェア(小計)	18,711	8.4	16,332	7.5	115	
宇宙機器合計	223,669	100.0	218,849	100.0	102	

概要説明に続き、調査結果の表が示されている。